

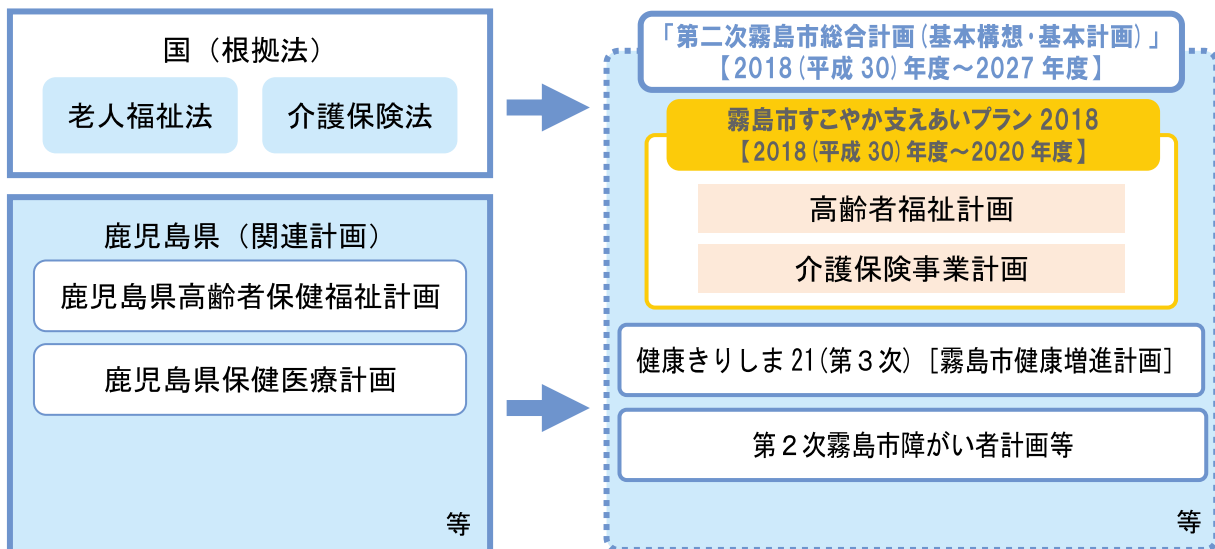
## 計画の目的とこれまでの経緯

創設から17年が経過した介護保険制度は、高齢期の市民を支える制度として浸透・定着してきました。しかし、介護・医療費の増加や認知症高齢者の増加、在宅医療ニーズの増大、家族介護者の負担など、様々な課題は未だ山積しています。

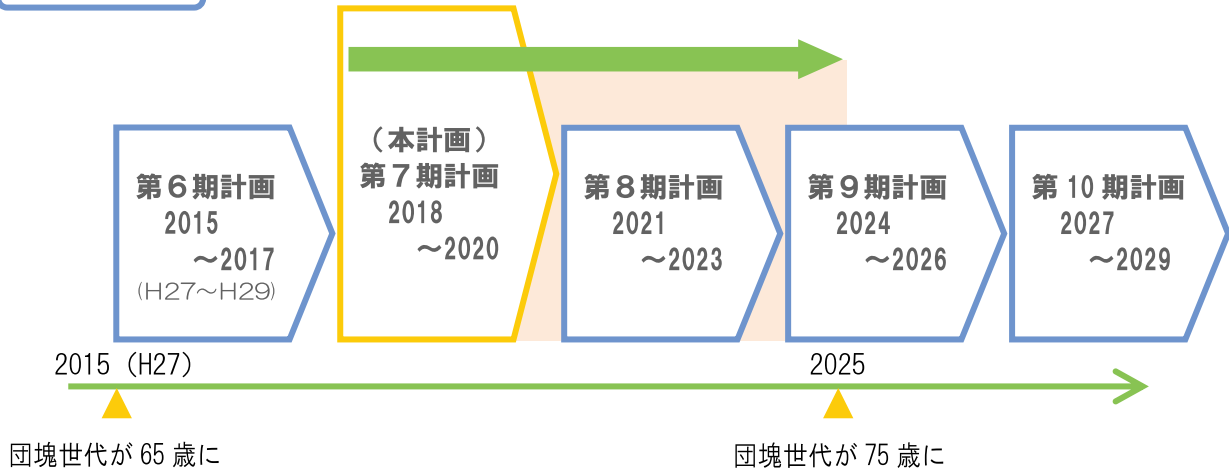
霧島市でも、市独自の認定資格である「霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカー」の養成などにより、地域に密着したセーフティネットの構築を推進してきました。住み慣れた地域での生活が継続できるように、身近な地域での関係づくり等、地域の力の醸成に継続的に取り組んでいます。

今回、第8期高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画として、前期計画で定めた方向性を継承し、また、団塊の世代が後期高齢者となる2025年度を見据え、中長期的な視点に立って、介護保険制度の円滑な運営を行うため、霧島市すこやか支えあいプラン2018を策定しました。

### 計画の位置づけ



### 計画の期間



## 高齢者等の状況

### 老年人口、認定者数、介護保険事業費の推移

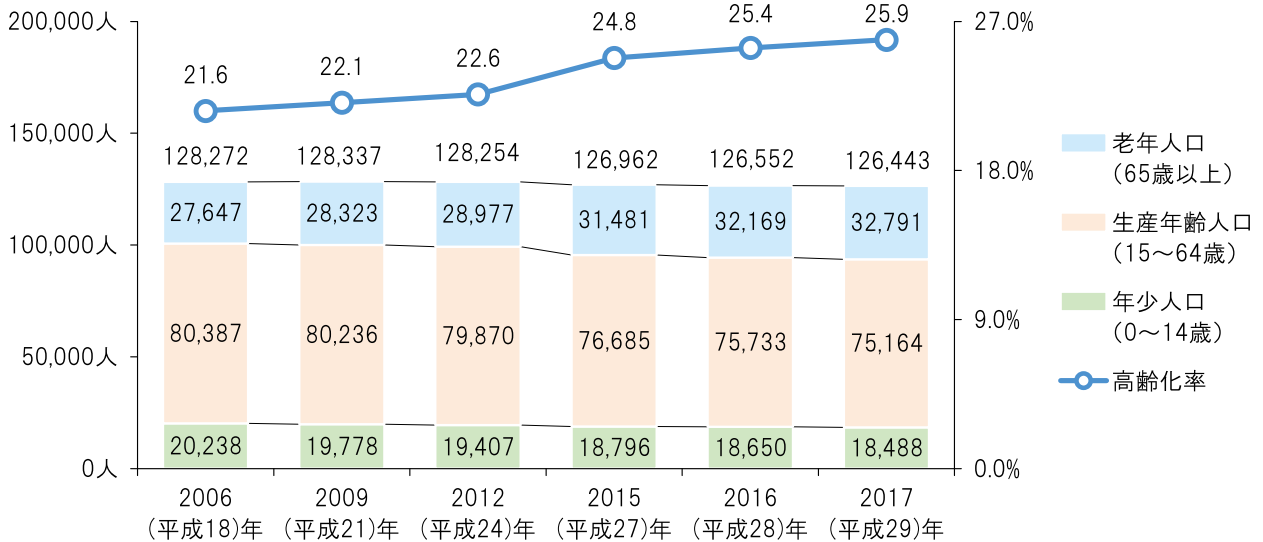
老年人口（65歳以上）の増加率よりも、認定者数、介護保険事業費の増加が特に高く、介護保険事業費については2017（平成29）年では2006（平成18）年と比較して約1.6倍の増加がみられます。

単位：人、千円

	2006年 (H18)	2009年 (H21)	2012年 (H24)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)
老年人口（65歳以上）	27,647	28,323	28,977	31,481	32,169	32,791
増加率（%）	100.0	102.4	104.8	113.9	116.4	118.6
認定者数	4,668	4,871	5,359	5,825	5,947	6,394
増加率（%）	100.0	104.3	114.8	124.8	127.4	137.0
介護保険事業費	6,083,646	6,957,548	8,340,850	9,286,486	9,506,373	9,907,427
増加率（%）	100.0	114.4	137.1	152.6	156.3	162.9

### 年齢3区分別人口構成の推移

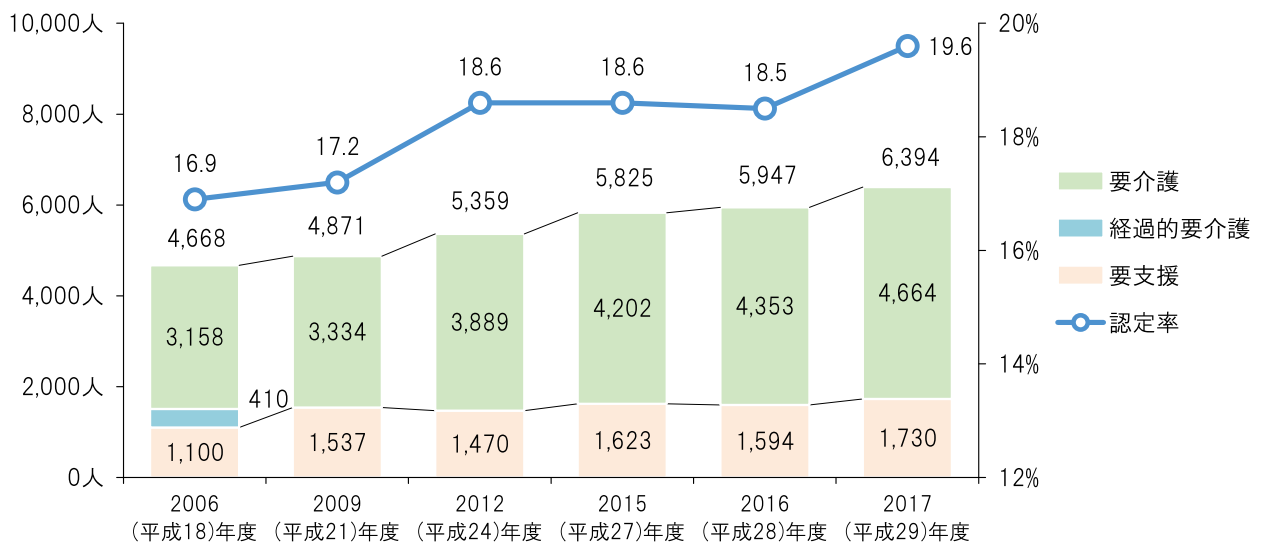
本市の総人口は2009（平成21）年以降緩やかに減少し、2017（平成29）年には126,443人となっています。高齢化率は年々上昇を続け、2006（平成18）年より4.3ポイント増加しています。



各年10月現在（資料：住民基本台帳）

### 認定者数及び認定率の推移

認定率に関しては、2006（平成18）年度16.9%に対し、2017（平成29）年度19.6%で2.7ポイント上昇しています。

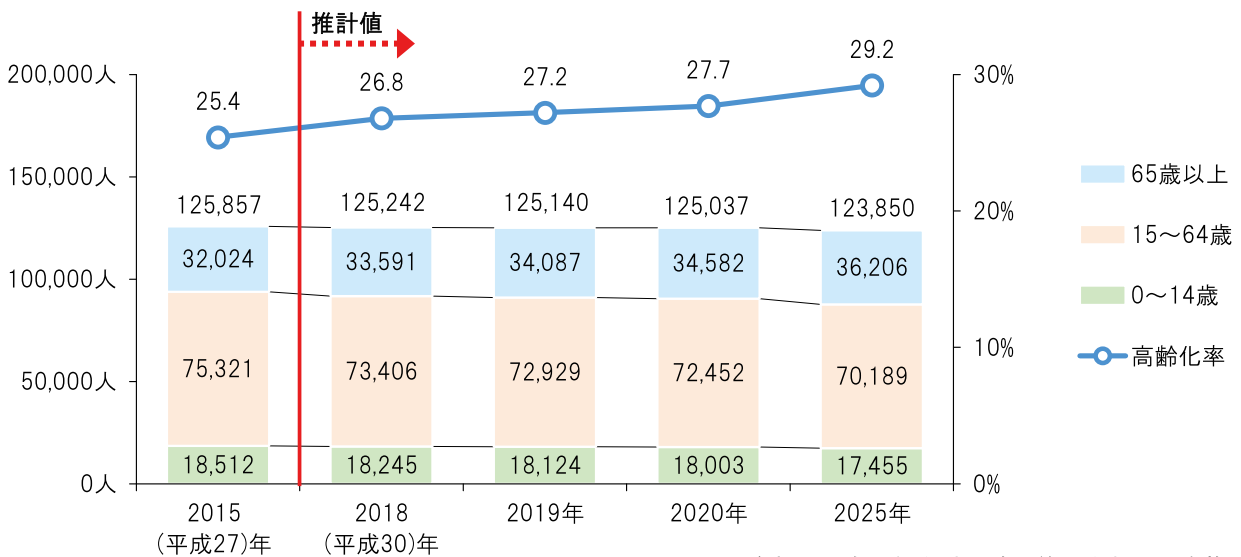


各年9月月報（資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報）

# 2025年の霧島市の姿

## 年齢区分別将来推計

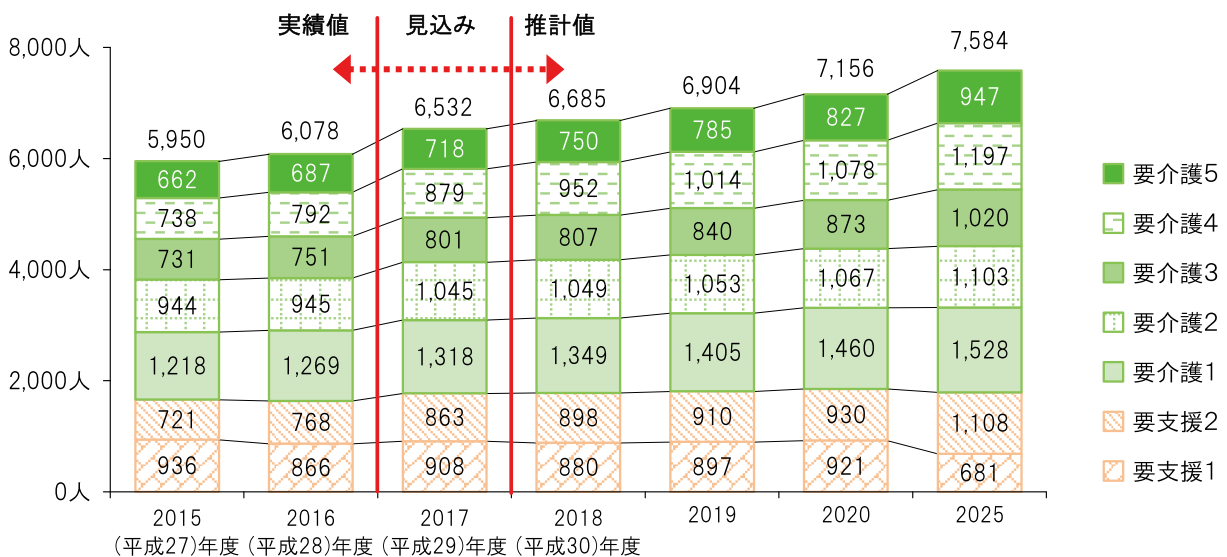
本市の総人口は、2015（平成27）年は、125,857人で、高齢化率は25.4%でした。今後の推計をみると、2020年の総人口は125,037人、高齢化率は27.7%、2025年の総人口は123,850人、高齢化率は29.2%となる見込みです。



（資料：霧島市総合計画時に算出された独自推計）  
2015（平成27）年：総務省「国勢調査」

## 認定者数将来推計

要介護（要支援）認定者の推計をみると、2017（平成29）年見込みでは、6,532人となっています。2025年では、7,584人と推計されています。



（資料：「見える化」システムより転載）